

NPO 法人岡崎がくどうの会

放課後児童支援員都道府県認定資格研修レポート

科目①『放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容』

科目②『放課後児童健全育成事業の一般原則と権利擁護』

科目③『子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ』

科目④『子どもの発達理解』

科目⑤『児童期（6歳～12歳）の生活と発達』

科目⑥『障害のある子どもの理解』

科目⑦『特に配慮を必要とする子どもの理解』

科目⑧『放課後児童クラブに通う子どもの育成支援』

科目⑨『子どもの遊びの理解と支援』

科目⑩『障害のある子どもの育成支援』

科目⑪『保護者との連携・協力と相談支援』

科目⑫『学校・地域との連携』

科目⑬『子どもの生活面における対応』

科目⑭『安全対策・緊急時対応』

科目⑮『放課後児童支援員の仕事内容』

科目⑯『放課後児童クラブの運営管理と運営主体の法令の遵守』

【クラブ】（ なかよしクラブ ） 【名 前】（ 野呂利紗 ）

全 16 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

学童は【子どもを守ろう】【共同で育てよう】という日本の良き伝統として引き継がれている。そんな話を聞き改めて感じた事は、子育てには保護者はもちろんのこと、地域、学校、学童、全体で連携して子どもたちの成長を見守るという事が大事なのだと思いました。近年の核家族化で、助けて欲しいのに助けてもらえない、誰にも相談できず一人で悩んでいるという保護者の方も多々いると思います。学童は、子どもに安心、安全を提供するだけでなく保護者の方の支援も含めて大事な部分を担っているのだと思いました。

学童のメリットは、異年齢との関わりの中で遊び、学びを通して人としての成長を身近に感じられることです。時には子ども同士の関係に気を使い、子どもたちに考えさせようとしていたのにいつのまにか指導員が主導になっていたり、子どもとの関わりの中で反省する事もたくさんあります。色々な特徴の子どもたちがいるので毎日手探り状態ですが、全ての子どもたちに安心な場所、安全な場所、居場所だと感じてもらえるように今後も精進していきたいと思います。

それと同時に課題だと感じたことは、毎日学校や部活、習い事、塾など忙しい子どもたちにとって休息の時間や場所も学童の中には必要なのだと感じました。スペースや時間の問題などすぐにはできないかもしれませんが、指導員間で情報共有や意見を出し合いながら考えていきたいと思いました。